

JIS

システム及びソフトウェア製品の 品質要求及び評価（SQuaRE）－ データ品質の測定

JIS X 25024 : 2018

(ISO/IEC 25024 : 2015)

(IP SJ/JSA)

平成 30 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第二部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 智	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
(委員)	青 木 裕佳子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	小 高 久 義	総務省行政管理局
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	榎 本 義 彦	日本アイ・ピー・エム株式会社
	山 田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会
	小 野 文 孝	東京大学
	橋 本 崇	日本銀行金融研究所
	神 保 光 子	日本電気株式会社
	菅 野 育 子	愛知淑徳大学
	鈴 木 正 敏	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	足 立 朋 子	株式会社東芝
	西 山 茂	新潟国際情報大学
	中 溝 和 孝	総務省国際戦略局
	三 宅 滋	株式会社日立製作所
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 30.3.20

官 報 公 示：平成 30.3.20

原 案 作 成 者：一般社団法人情報処理学会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3431-2808)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第二部会 (部会長 大崎 博之)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 伊藤 智)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	3
2 適合性	4
3 引用規格	4
4 用語及び定義	5
5 略語	9
6 データ品質測定量の使用	10
6.1 データ品質測定概念	10
6.2 データ品質測定の進め方	11
7 データのための QM を記述するための様式	13
8 データ QM (品質測定量)	13
8.1 一般	13
8.2 正確性の QM	14
8.3 完全性の QM	16
8.4 一貫性の QM	18
8.5 信ぴょう (憑) 性の QM	20
8.6 最新性の QM	21
8.7 アクセシビリティの QM	21
8.8 標準適合性の QM	23
8.9 機密性の QM	23
8.10 効率性の QM	24
8.11 精度の QM	26
8.12 追跡可能性の QM	27
8.13 理解性の QM	28
8.14 可用性の QM	29
8.15 移植性の QM	30
8.16 回復性の QM	31
附属書 A (参考) 品質測定量の定義に利用される QME	32
附属書 B (参考) QME, 対象実体及び品質測定量	34
附属書 C (参考) QME の参考例	36
附属書 D (参考) 五十音順に配列した品質測定量	40
附属書 E (参考) 特性及び対象実体に対する品質測定量の識別子	42
参考文献	44
解 説	45

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人情報処理学会（IPSI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価 (SQuaRE) — データ品質の測定

Systems and software engineering—

Systems and software Quality Requirements and Evaluation (SQuaRE)—
Measurement of data quality

序文

この規格は、2015年に第1版として発行された **ISO/IEC 25024** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

この規格は、SQuaREシリーズの一部である。この規格は、他のSQuaREシリーズ、特に **JIS X 25012:2013**、を参照することによってデータ品質を測定及び評価するために使用することができるデータ品質測定量の集合を提供する。

この規格のデータ品質測定量の集合は、その実用的な価値に基づいて選ばれている。この測定量は、網羅的であることを意図していない。そして、この規格の利用者には、必要に応じてそれらを定義することを推奨する。

品質測定部門

この規格は、次の規格から成る **ISO/IEC 2502n** 部門の一つである。

- **ISO/IEC 25020 測定の参照モデル及び手引** **ISO/IEC 2501n** 品質モデル部門で定義した品質特性を測定するための参照モデル及びガイドを規定している。
- **JIS X 25021 品質測定量要素** ソフトウェア品質測定を構築するために使用できる QME 及び QME の例を仕様化するための様式を規定している。
- **JIS X 25022 利用時の品質の測定** 利用時の品質モデルにおける品質特性に対する関連した測定方法及び QME を含む測定量を規定している (2018年 JIS 化予定)。
- **JIS X 25023 製品の品質の測定** 製品品質モデルにおける品質特性に対する関連した測定方法及び QME を含む測定量を規定している。
- **JIS X 25024 データ品質の測定** データ品質モデルにおける品質特性に対する関連した測定方法及び品質測定量要素を含む測定量を規定している。

図 1 では、この規格とそれ以外の **ISO/IEC 2502n** 部門の規格との関係を表している。